

私は「対話」で 彦根を創る。

経験を活かして、
今、彦根に恩返し

基本政策



頼れる彦根

学び・育ちを支え、安全・安心を確保 (教育・福祉・子育て・防災)

- 不登校や行き渋り、ひきこもり、ヤングケアラー、ケアリーバーなど困難を抱えた子どもや若者、保護者支援のため、フリースクール等の関係者と連携し、積極的に支援します。
- 個別最適な学びと協働的な学びを両立し、持続可能な社会の創り手を育てます。
- 保育人材の発掘確保と待遇改善、放課後児童クラブへの支援拡充と処遇改善に努めます。
- 看護・介護の人材確保と、医療・福祉・メンタルヘルスケアの予防対策を進め、誰もがアクセスできる仕組みを目指します。
- 産前産後の孤立をなくし、離乳食期までの親子を食と人のつながりで支える『赤ちゃん食堂』開設を目指します。
- 従来の防災・減災対策に加え、要配慮者の避難支援の体制構築、自主防災の組織率をさらに高めます。



誇れる彦根

活気に満ちた風格と魅力を取り戻す(文化・スポーツ)

- 彦根城世界遺産登録に向け、あらゆるネットワークを駆使してさらに前進させます。
- わたSHIGA輝く国スポ・障スポの成功に向けた機運醸成に努め、大会後の施設の利活用を促進します。
- 文化・スポーツを軸とした市民の生涯学習活動を積極的に支える環境を整備します。



試される彦根

持続可能な行財政を確立し、 将来世代にツケを残さない(行財政改革)

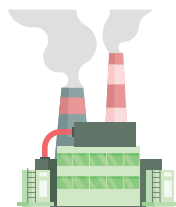
- 市長報酬を20%削減します。
- 事務事業、市民サービスのムリ・ムラ・ムダを徹底的に省く歳出削減を進め、予算の組み換え、見直しを進めます。
- 法改正の動向、各省庁の予算執行情報を迅速に入手し、政策実現、施策展開に反映させます。
- 県や近隣自治体との共通認識のもと、共に担える行政サービスを模索し、効率的かつ効果的な事業を展開します。
- 自主財源確保に向け、ふるさと納税、クラウドファンディングなど、できる限りの手法を取り入れます。
- 地元産品やエネルギーの地産地消、地元企業を優先する公共調達で、循環する経済圏をつくります。



選ばれる彦根

「住みたい、働きたい、訪れたい」実現 (くらし・産業・農業・観光)

- 民間の力を積極的に受け入れる土壌づくりと、大学、産業支援機関との連携を密にし、企業立地促進、宅地開発の環境整備、雇用の創出、スタートアップ支援を強化します。
- 空き家の発生抑制に官民一体で取り組み、空き家バンクの活用で適切管理を進め、移住・定住促進と住環境の好循環をつくります。
- 生産性を高め、高付加価値、農作物のブランド化で農業の後継者・新たな担い手、生産者を支援し、「儲かる彦根の食と農」を進めます。
- まったなしの広域ごみ処理場は整備計画の見直しを含め、建設・稼働に向けた取り組みを加速化します。
- 彦根だけにとどまらない広域観光、海外への情報発信力を強化し、持続可能な観光振興に取り組みます。



つながる彦根

対話と共創の市民参加型まちづくりを進めます(市民自治・人権)

- 学区別・テーマ別の対話集会を開催し、多様な市民の声を聴き、各地を視察し、現場の課題解決に取り組みます。
- 活発な地域コミュニティを目指し、自治会活動など市民の自発的な諸活動の支援に努めます。
- 差別のない社会を構築するため、人権意識の高揚に努めます。

